

市内・金龍寺所蔵の国指定重要文化財 全16幅の掛軸を初めて一挙公開 「絹本著色十六羅漢像」複製公開展を開催(7/31~8/29)

龍ヶ崎市教育委員会では、金龍寺(きんりゅうじ・龍ヶ崎市若柴町)所蔵・国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像(けんぼんちやくしよくじゅうろくらかんぞう)」の複製公開展を令和3年7月31日(土)から8月29日(日)まで龍ヶ崎市歴史民俗資料館で開催します。

「絹本著色十六羅漢像」は、14世紀前半に制作されたとみられ、全16幅で構成される掛軸です。大正6年に国指定重要文化財に指定され、現在は、茨城県立歴史館に寄託されています。

保存の観点から常設展示はされておらず、実物を見ることが難しい状況の中、市の文化財をより多くの皆さんに見ていただくために、平成29年度から毎年4幅ずつ、レプリカを作製し、今回、すべての複製が完了しました。

本公開展は、平成30年・令和元年と実施し、今回で3回目です。すでに公開した8幅(第一尊者~第八尊者)に加え、未公開である令和元・2年度に新たに作製した8幅(第九尊者~第十六尊者)を加えた全16幅の掛軸を初めて一挙公開します。

最新のデジタル技術と熟練の職人の手作業により実物を忠実に再現しており、荘厳な雰囲気を出し出す羅漢像が並ぶ姿は一見の価値があります。

当市ゆかりの名品の公開展の周知に報道機関各位のご協力をお願いいたします。

■日 時	令和3年7月31日(土)~8月29日(日) 午前9時から午後5時まで ※休館日(8/2・10・16・23)を除く
■場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 企画展示室 (所在地:龍ヶ崎市駒馬町2488番地 / 電話:0297-64-6227(直通))
■主 催	主 催:龍ヶ崎市教育委員会 協 力:金龍寺
■詳 細	「絹本著色十六羅漢像」掛軸全16幅のレプリカを展示。 その他、レプリカ作製時の工程紹介や金龍寺に関するパネルなども展示しています。
■入場料	無料(自由に見学できます)
■資 料	公開展チラシ

担当課	龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ 担当者:由利・関(ゆり・せき) 連絡先:0297-60-1563(直通)
-----	--